

分類：基礎医学IV

授業科目名：生体機能学実習（Physiology and Pharmacology lab） - 生理学実習・生体機能実習・薬理学実習 -

対象学年：2年次必修

時間割コード：71563021

開設学期等：第28週～第29週

単位数：2

1. 主任教員

齋藤康太（教授、情報制御学・実験治療学講座、6065）

2. 担当教員

齋藤康太（教授、情報制御学・実験治療学講座、6065）

沼田朋大（教授、器官・統合生理学講座、6272）

岡本洋介（講師、細胞生理学講座、6070）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

生体の機能について理解を深めるため、神経・膜・筋肉からの電気現象の測定、生体からの情報収集について実習する。実習は、以下の6項目からなる（1-1～1-2, 2-1～2-6, 2-8, 3-1～3-7, 4-1～4-7, 5-1～5-4, 6-1～6-2）。

1. カエル坐骨神経の神経活動電位記録
2. カエル骨格筋収縮力記録実習
3. インフォームドコンセント実習
4. マウスの薬物作用機構実習
5. 表皮感覚と深部感覚の実習
6. 中枢神経興奮作用の判定実習

学生全員を6つの班に分け、班ごとに1日1テーマずつ、2週間で合計6テーマ全てを実習する。

4. 教科書・参考書

スタンフォード神経生物学、カンデル神経科学、人体の正常構造と機能の3冊が学習の基礎知識となるのでコース開始前に学習しておくことが望ましい。

5. 成績評価の方法

態度、レポート、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

自主学習の時間に多くの学習をしてください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	11月13日(月)	1-10時限	実習	テーマ：オリエンテーション 初日は班分けと実習内容についての説明及び諸注意をおこなった後、各実習テーマのデモンストレーションをおこなう。デモンストレーションにおいては、各班から数名ずつ代表者を募り、実際の実習プロトコールにしたがってデータ収集をおこなう。実習の手技、機器の取り扱い、データ解析について指導教官より詳しい説明と実技指導があるので十分習得すること。実習当日はこれら代表者が中心となって実習をおこなう。グループ分けは当日発表する。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	第2講義室
2	11月14日(火)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、最初のテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。 カエル坐骨神経の神経活動電位記録：第2実習室 カエル骨格筋収縮力記録実習：第2実習室 インフォームドコンセント実習：第4実習室 マウスの薬物作用機構実習：第4実習室 表在感覚と深部感覚の実習：第2実習室 中枢神経興奮作用の判定実習：第2講義室	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ
3	11月15日(水)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、2つめのテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ
4	11月16日(木)	1-10時限	自主学習	テーマ：生体機能学実習 実験結果及び考察をまとめてレポートを作成する。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	
5	11月17日(金)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、3つめのテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ
6	11月20日(月)	1-10時限	自主学習	テーマ：生体機能学実習 実験結果及び考察をまとめてレポートを作成する。		
7	11月21日(火)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、4つめのテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ
8	11月22日(水)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、5つめのテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ
9	11月24日(金)	1-10時限	実習	テーマ：生体機能学実習 各班ごとに、6つめのテーマについて実習をおこなう。テーマごとに実習場所が異なるので注意すること。	齋藤康太 沼田朋大 岡本洋介	テーマごと指定された場所へ